

第2回

メチル水銀中毒症研究会主催

WEB

# 慢性メチル水銀 中毒症シンポジウム

新潟水俣病について

日時

2022年

5月22日 日 14:00-15:30

ZOOMウェビナーを使って全国をオンラインで中継します

第1演題

「新潟水俣病の紹介」

演者 菊陽病院 藤野紘 医師



第2演題

「新潟水俣病の臨床経験」

演者 舟江診療所 関川智子 医師



第3演題

「新潟水俣病の水銀曝露と  
神経症候の関係」

演者 新潟青陵大学 福祉心理学部  
社会福祉学科 教授 丸山公男 医師



第4演題

「水俣・新潟の病態の比較」

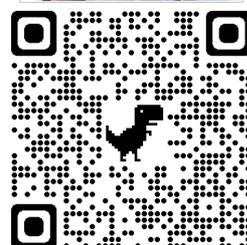
演者 神経内科リハビリテーション協立クリニック  
高岡滋 医師



参加をご希望の方は右のQRコードよりお申込みください

<https://bit.ly/36uf95j>

お問い合わせ 0966-63-6835 or 070-5402-0138  
神経内科リハビリテーション協立クリニック 荒川(あらかわ)



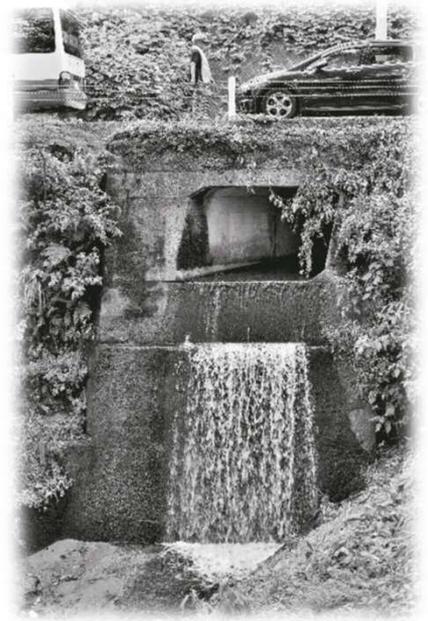
➤ ZOOMウェビナーでの開催です。必ず  
事前申し込みの上、ご参加ください

➤ 所属と実名表記でご参加ください

例：▲▲病院 浪花太郎、□□法律事務所  
日本一子 など

(本人確認ができない場合は参加をお断り  
する場合があります)

➤ シンポジウムでのご質問はチャット機能  
でお寄せください。



## ～新潟水俣病とは～

新潟水俣病は、熊本で水俣病が公式  
発見されてから9年後の1965年に  
最初の患者が確認されました。熊本水  
俣病の原因究明や被害者救済が適切に行われなかったため  
に起こった第二の水俣病です。

阿賀野川上流にあった昭和電工鹿瀬工場からの廃液に含  
まれたメチル水銀が食物連鎖により魚介類に濃縮・蓄積さ  
れ、これらの魚介類を常食していた流域住民が新潟水俣病  
に罹患しました。

当時、流域の住民にとって川魚は貴重なタンパク源であ  
り、阿賀野川にはたくさんの漁協があり、流域住民は川魚  
を多食していました。

そして、新潟でも熊本同様、今もなお多くの住民が水俣  
病の神経症状に苦しみ、また、いわれなき差別と偏見に苦  
しみながら救済を求めています。

第2回シンポジウムは「新潟水俣病」に焦点をあて、水  
俣病の実相を考えていきます。

科学者である医師、特に若手医師のご参加を歓迎します。

